

3月11日に発生した東北地方太平洋沖大地震で被災されたすべての皆さんにお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りします。

JR総連は震災発生からすぐに「緊急対策本部」を発足し、鉄道の被害状況と被災した組合員の把握・支援を行ってきました。

JR総連の組合員にも残念ながらお亡くなりになった仲間や、行方不明となっている組合員・家族がいます。

私たちはこれまで、ヒューマニズムの精神により、仲間が困っているときに何が出来るのか、何をすべきかを学んできました。

今回は、被災地で不足している飲料水をJR東海労として職場の組合員と共に大阪の地でかき集めました。その結果、分会としてペットボトル283本（362L）を集めることが出来ました。地本事務所に集まった飲料水は、トラックで大阪一名古屋一静岡を経由して東京のJR総連事務所まで届けられました。

また、被災されたJR総連の仲間のために義援金のご協力をお願いしてきました。分会として117,000円もの心温まる義援金となり、地本・本部を通じて全体で170万円を超えるものとなりました。

組合員の皆さんに対して紙面を通じて、この間のご協力に感謝し御礼を申し上げます。

しかし、被災地ではまだまだ安心出来る状況ではありません。私たちは、職場から安全と健康を守り続ける闘いを通じて支援・連帯の取り組みを継続していきます。



（集まった飲料水は、既に被災地へ届けられました）

義援金、支援物資の取り組み

ご協力ありがとうございました！